

牛嶋構口公園

うしじまかまえくち

整備

公園整備にあたっては、整備検討委員会を設置して遺構の整備手法や公園内施設の配置などについて検討を重ね、関係各課で連携を図りながら整備を行いました。

【主な整備内容】

- 石垣の修復保全を行い、安全性を配慮して本物を見せる整備
- 城下入口の要衝地として、閉鎖的空間をイメージさせるモニュメントの整備
- 長崎街道部分の色舗装
- 城下町散策などの起点となる広場として、公共トイレ・駐車場を整備
- 歴史的場所として、長崎街道、牛嶋口の案内板を設置

【公園名】

旧町名の「牛嶋町」と古くからの名残である「構口」の呼称を合わせて「牛嶋構口公園」としました。



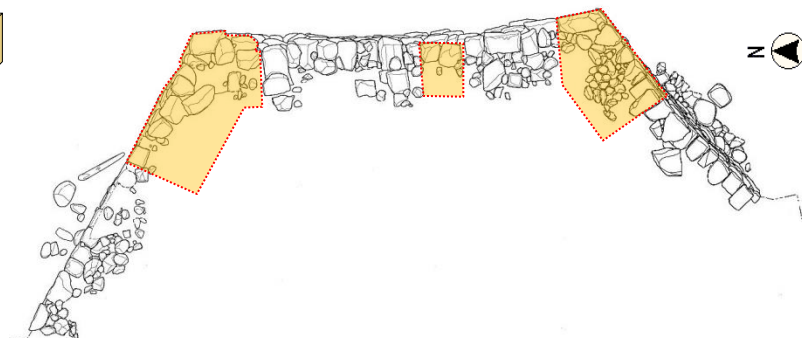
整備イメージ模型

石垣の修復

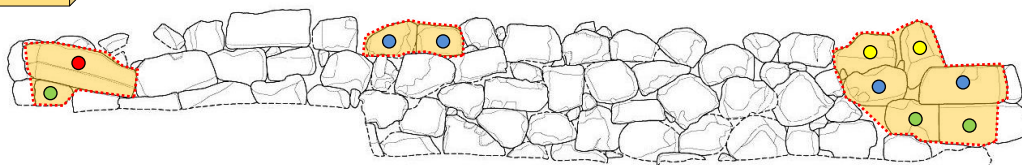
長い年月や樹木の根により不安定な状態になった石垣の一部を一旦解体し、適正な状態に積み直して保全を図りました。

修復箇所（アミカケ部分）

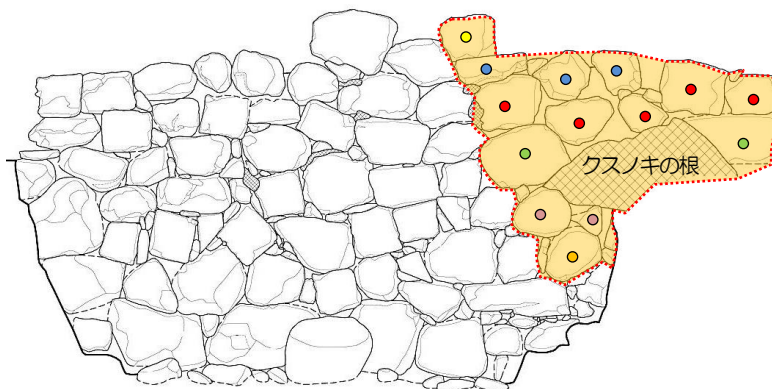
平面



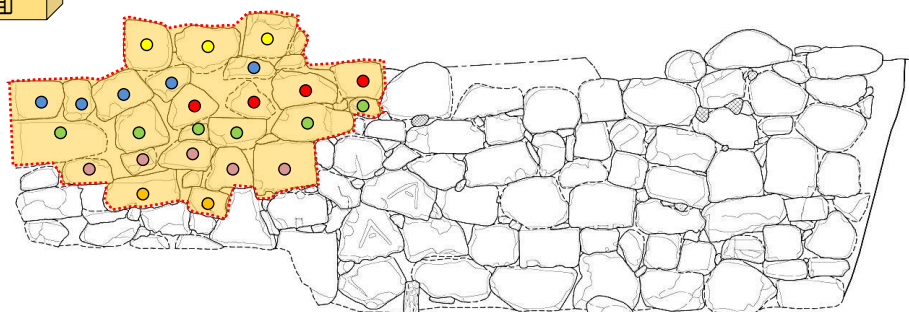
東面



南面



北面



- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ● 一段目 | ● 二段目 | ● 三段目 | ● 四段目 | ● 五段目 | ● 六段目 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|

作業工程

【工程1】 解体する石に番号を付け、石同士が接するポイントなどに目印をつけます。



【工程2】 石垣を上から一段ずつ解体していきますが、先行して一段分の背面を慎重に掘削し、写真撮影や図化等の記録作業を行います。



【工程3】 記録作業の終了後、一石毎に番号を確認しながら解体します。取り外した石は、大きさの計測、写真などの記録をとり、調書を作成していきます。この背面掘削⇒記録⇒取り外し作業を一段ずつ繰返し行います。



【工程4】 取り外した石を元の位置に適正な状態に積み直し、背面には補強の栗石を充填させ丁寧に転圧を行い完了です。



before

after

東面



南面

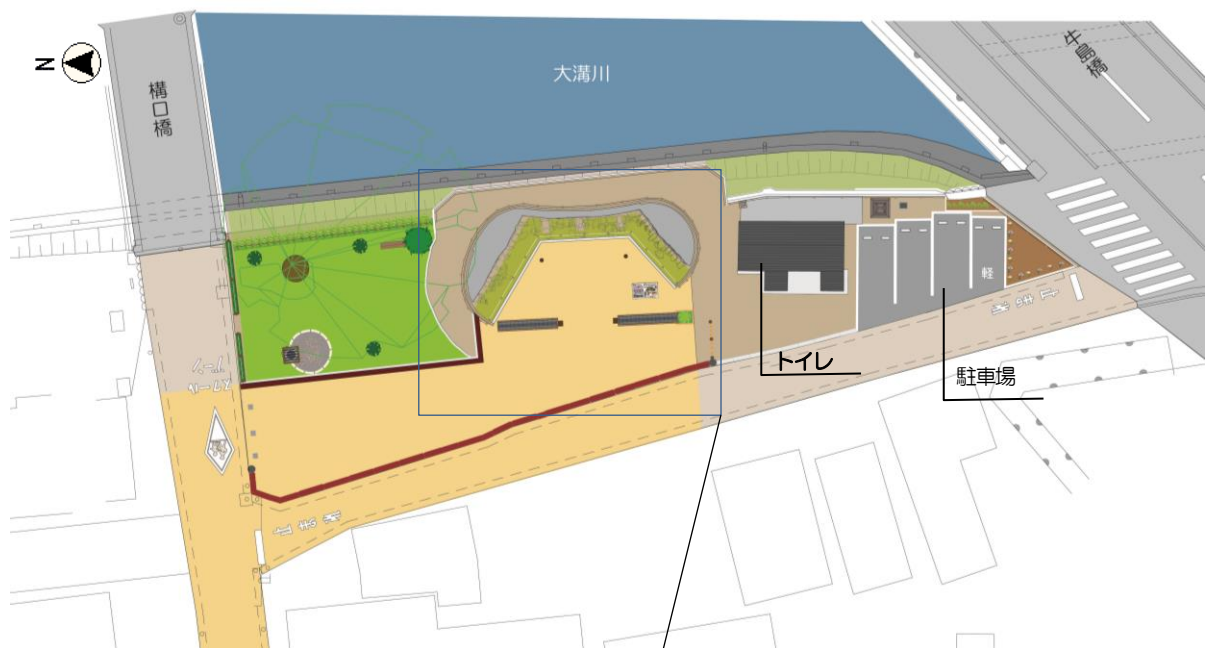


北面



遺構を活かした公園整備

佐賀城下東入口にあたる牛嶋口は、木戸、番所などが置かれ、佐賀藩にとって交通・軍事の要衝地として特別な場所でした。公園整備にあたっては、発見された遺構を活かし、ここが格式だった場所であったことをイメージできるモニュメントを設置し、往時の様子を思い描けるような整備を行いました。



牛嶋構口公園整備平面図



モニュメント整備部分



モニュメント工事の様子